

# つながる

平成23年10月24日 No. 6  
十日町市教育委員会学校教育課



## 取組の質を高める

小中一貫教育推進係  
嘱託指導主事 平野久美

紅葉のたよりが聞かれる頃となりました。各学校では、文化祭や合唱コンクール等、秋の行事に向けた取組の真っ最中かと思えます。現役時代に、準備や練習を重ねるプロセスで子どもが大きく成長する様子に感動したことを思い出します。そして、そのような姿を作り出す関係職員の、苦労をものともせずに取り組む姿も有難さ・嬉しさとともに思い出されます。

春以来、モデル中学校区を取組を拝見してきました。忙しい日々の中、各モデル中学校区では、それぞれのスタイルで、工夫しながら様々な取組を試行しています。

先日、ある交流活動担当者の次のような言葉に出会い、嬉しく思いました。「1学期の活動を小・中の職員で振り返り、時間がかかりすぎる活動、かかわりがあまりない活動は見直しをした。」というものです。いかに良い活動にするか、活動の質を高めるかという検討をしながら進めているのです。しかも、活動のねらいから大切なことである、「かかわりの質はどうか」という視点がきちんと検証されているのです。

また、こんな場面にも遭遇しました。体育の交流授業の時でした。グループ内で班長を決めることになりました。指導者は子どもの様子から、「じゃんけんで決めた班」と「話し合いで決めた班」を確認し、どういう決め方がいいのかといった指導をしたのです。教科のねらいだけではなく、小中一貫教育の一環として取り組んでいる交流授業の意味やねらいを確かに受け止めているすばらしい指導だと感じました。

交流授業や交流活動及び乗り入れ授業は、打合せ等の準備や移動時間がかかります。にもかかわらず、ややもすると、「何の授業をするか」「どんな活動をするか」といったことだけで終わってしまい、「労多くして、成果が上がらない」という危険性を伴うものだと思います。

例えば、中学の教師が小学6年生に乗り入れ授業を実施するとします。ここで、教科のねらいだけで授業をしたら、もったいないことです。「中学で学ぶ内容と本時のつながり」「中学での授業の進め方」「中学の学びへの期待」等々、小中一貫教育の視点からの指導のねらいをもう1つ持って授業に臨むことで、難儀したことへの成果が倍増します。小中一貫教育の視点からの取組の質が高まるのです。複数の小学校児童が一緒の授業では、さらに「どんなかかわり方をさせるか」といったことも大事な授業構想の1つでしょう。交流活動でも同様です。

小中一貫教育の視点で「何をねらってどのように」といったレベルまで具体化・共有化がされる。訪問で拝見したような素晴らしい取組が、市内にどんどん広がっていくことが楽しみな秋です。

## 小中一貫教育 活動を終えた児童・生徒の感想



### チャレンジウォーク（下条中学校区）

中学校のチャレンジウォークに小学生も参加しました。

<下条小 6年 女子>

スタート場所について、私は（これから16.9km歩くのか・・・。がんばるぞ!）と思った。歩きはじめて、すぐ疲れた。足が痛くなり遅れはじめて。けど、がんばって前の人についていった。初めて来た道があり、景色を楽しみながら歩いた。お昼ごはんを食べて10分ほど歩くともう足が痛くなってみんなと離れてしまった。けど、もう少しでゴールだから、はやめに歩いた。歩いている時、中学生に会ったから「こんにちわ」と声をかけた。中学生は優しく返事をかえてくれた。

最後は、（完走した・・・。つかれた・・・。）という思いでゴールした。もう、足が痛くて歩きたくないと思った。けど、16.9km完走できてうれしかった。足がいたくなかったのも、お弁当を食べたのも、完走できたのも全部思い出に残った。とても楽しくできて良かった。

### 小学生陸上教室（川西中学校区）

中学校陸上部の生徒が小学生を指導しました。

<川西中 2年 男子>

僕は、小学生陸上教室でソフトボールの投げ方を教えました。小学生は真剣に話を聞いて、しっかりと練習に取り組んでいました。小学生は、たくさん練習をして自信をもって大会に参加し、記録の向上をめざしてほしいと思います。

6年生は、来年中学校に入学して部活動に参加します。陸上部に入って一緒に活動ができるとうれしいです。

<川西中 3年 男子>

僕は長距離の人たちと一緒に、コーナー走とリズムジョッグ、200Mインターバル走を行いました。特にコーナーを走るときの腕の振り方を教えました。小学生は積極的に取り組んでいてよかったです。短時間にみんなに分かるように説明することは難しいと思いました。本番では力を発揮して好成績を残してほしいと思いました。

### 中学校体験入学（中里中学校区）

小学生が中学校で授業や部活動を体験しました。

<田沢小 6年 女子>

9月20日に中里中学校の体験入学がありました。

中学1年生の先輩たちと英語の授業をやりました。ビンゴゲームやクイズをしました。すごく面白かったです。また、部活動体験では、吹奏楽部でフルートを体験しました。田沢小学校を卒業した服部芽衣さんが教えてくれました。芽衣さんは分かりやすく教えてくれたのですごくうれしかったです。フルートはすごく難しく、苦戦しましたが、がんばって挑戦しました。来年は吹奏楽部に入りたいなと思いました。

最近、来年のことで悩んでいたけど、楽しみになってきました。

### 中学校体育祭（松代中学校区）

中学校体育祭に小学生も企画会議から参加しました。

<松代中 3年 女子>

今年度の小学生レースは、「松代地区小中一貫教育豊かなプロジェクト」の1つとして小学生と中学生が合同で競技を企画しました。企画会議では、小学生も中学生もたくさんの意見を出し合い、どんな内容にするかを考えました。そして、小中一貫にちなんで、小学生と中学生が協力して障害物を乗り越えていくという競技に決まりました。2回の企画会議をし、小学校の児童会で呼びかけをしてもらったおかげで、体育祭当日にはたくさんの小学生のみなさんがレースに参加してくれました。一緒になって笑顔で楽しそうにしている小学生と中学生を見て、この企画をやってきて本当に良かったなあと達成感を味わうことができました。とても良い取組ができました。

ご活用ください！ 先進的取組地域の指導計画等資料

現在、教育委員会には指導計画等に関し、以下の資料があります。  
必要な学校は、小中一貫教育推進係へご連絡ください。

市名	内容	備考
三条市 (新潟県)	①算数指導計画 ②総合的学習の時間の指導計画 ③社会性育成プログラム	①は領域・学年毎に、単元のねらい、学びの履歴、学びのつながり、中学校区の留意点、9年間の学びの中における本単元の価値等が詳しく記載されています。 ②は第三中学校区の昨年度のもので、重点指導内容に即した計画です。 ③は大崎中学校区のもので、
むつ市 (青森県)	①国語指導計画 ②社会指導計画 ③算数指導計画 ④理科指導計画 ⑤外国語活動、英語指導計画	まだ作成途中のたたき台のものだそうです。育てたい力、指導の重点、学習内容、学習用具等にかかわって記載されています。
呉市 (広島県)	①総合指導計画 ②聞く・話す・書くの進め方 ③学力向上マップ ④家庭学習のすすめ	①は郷原中学校区の育てたい力を一覧にしたものです。 ②も郷原中学校区のもので、具体的で使いやすいそうです。 ③は警固屋学園で子どもや保護者に配布し活用している生活、国語、算数・数学のねらい一覧表です。 ④も警固屋学園が作成した発達段階別のものです。
鴨川市 (千葉県)	①指導の重点  国語、社会、算数・数学、理科、生活、音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、家庭・技術家庭、英語活動・英語、道徳、生き方学習	①ここもまだ検討中のものだそうです。育てたい力と指導の手立てが記載されています。「道徳」、「生き方学習」の計画も作成しています。

(平成23年10月24日現在)



## モデル中学校区11月の活動予定

日時 <内容>	会 場	見 どころ
○8日(火) 10:25~15:55  <集合学習・フォーラム>	中里中学校	・学区内の小学5年生と一緒に活動を行います。各学年、年間2回の実施で、5年生は今回が2回目となります。午前中は合同授業、給食や昼休みも共に過ごし、午後からは総合学習の発表会(集合学習フォーラム2011)を実施します。中学1年生も参加し、質問などを行います。
○18日(金) 1部:13:30~14:30 2部:15:00~16:30  <講演会>	【第1部】 中里中学校 体育館 【第2部】 Uモール 2F大ホール	・文教大学教育学部・成田奈緒子教授による子育て講演会です。脳科学の視点からなぜ「早寝・早起き・朝ごはん」が必要かなど、分かりやすい話が聞けます。第1部は中学校区の児童・生徒、第2部は地域保護者対象です。
○21日(月) 14:00~14:50  <乗り入れ授業>	松代中学校 イングリッシュルーム 視聴覚室	・5回目の今回は、中学校区の小学5年生が中学校の先生から算数の、小学6年生が小・中の先生によるTT指導で外国語活動の授業を受けます。
○28日(月) 14:00~15:50  <推進会議>	下条小学校  会議室	・第2回目の今回は、以下の内容で行います。 ①各部の事業内容・進捗状況・成果説明 ②各機関からの連絡 ③質疑・意見交換